訓練 **弟子たち**

会期 **16: 繁殖のために創造された(8a)**

ロン・ライブリー、M.Div.、M.A.による提供 – BiblicalMentoring.org(学問)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人が記憶の節を引用します: ヴァース: **テッサロニケ人への第一の手紙 2:19-20**
19「我らの希望も喜びも冠も何であるか
主イエスの来臨を自慢することについて?
あなたではありませんか?20 あなたが私たちの栄光と喜びであるからです。」

ステップ3: *聖書章の全部または一部を読んで議論してください:* **テッサロニケ人への手紙第一 2**

ステップ4: 個人申請やグループディスカッションのための質問:

一. どちらが先ですか?鶏が先か卵が先ですか?自分を犠牲にするか、それとも弟子になるか?

二. フィリップスは、実を結ぶということは、神の霊が弟子としてあなたの中に創った人格を他者に再現することだと言います。このシンプルな計画に賛成ですか?これが他者に訓練することなのです。

三. フィリップスはまた、パウロと同様にイエスは妥協しないと述べています。信者は子孫を残すか、さもなければキリストの弟子ではないと。もし同意するなら、その意味は何でしょうか?

四. 著者はまた、サタンの嘘は私たちが弟子を作るに十分ではないというものだと言っています。しかし、弟子を育てる資格を与えるのはあなたの善さではなく、キリストの完全さです。また、重要なのはあなたが何を知っているかではなく、あなたが誰(イエス)を知っているかだとも言います。

五. 確かに、弟子訓練は大変な仕事ですが、働きは報われます!しかし単純な真実は、もしあなたが自分自身に死んだなら、あなたが御国の発展、すなわち民を鍛える計画に参加すれば、キリストはあなたを通してその人格を再現するということです。

ステップ5: *本の内容を読み、議論する:*

第8章a、著者による – キース・フィリップス:

一度自分に死んだとき、あなたは弟子です。そして弟子は子孫を残すために作られます。イエスははっきりと言いました。「...もし人がわたしの中に残るなら...彼は多くの実を結ぶであろう...」ヨハネ15章5節(NIV、斜体は付け加えた)。新約聖書において、神の霊があなたに創られた性格を他者に再現することほど高い召命や明確な使命はありません。キリストはすべてのキリスト者が霊的な実を結ぶことを期待しています。パウロは健康な霊的な子どもを持つことの重要性を明かしています。「私たちの希望、喜び、あるいは主イエスが来られた時に栄光を得られる冠とは何でしょうか。それはあなたではありませんか?まさにあなたが私たちの栄光と喜びです」(テサロニケ人への第一の手紙2章19章20節、斜体は追加)。パウロは単に人をキリストに導くだけでは十分ではないと知っていました。彼は霊的な子供たちが成熟した弟子にならなければ、自分の努力は無駄だと考えていました。そして成熟した弟子は他者の中で自分の命を生み出し、永続的な実を結びます。パウロは主に導いた信者たちに「命の言葉をしっかりと守り、キリストの日に無駄に走らず無駄に働かなかったから栄光を得るためである」と促したことに注目してください。彼はこの懸念をテッサロニケ人への第一3章5節にも繰り返しました。「...もう我慢できなくなったとき、私はあなたたちの信仰を知りに行きました。誘惑者があなた方を誘惑し、私たちの努力が無駄になるのではないかと恐れていました」(新訳)。そしてガラテヤの信者たちには「あなたがたのために恐れます。おそらく私があなたたちのために無駄に働いたのではないか」(ガラテヤ人への手紙4:11)。

パウロは、多くの新しいキリスト教徒が生まれたのに、彼の有名な宣教旅が無駄だったかもしれないとどうしてあえて示唆できたのでしょうか?なぜ使徒は自分の群れが肉体的または世俗的になった可能性に苦悩したのでしょうか?その理由は明白です。パウロはイエスが妥協しないことを知っていました。すなわち、自分自身に死んで子孫を残すか、さもなければキリストの弟子でないかのどちらかです。イエスは他に選択肢を残しませんでした。キリストご自身が弟子たちに言いました。「...私はあなたたちに行って実を結ぶように選びました。それは長く続く実を...」(ヨハネ15:16 NIV、斜体は追加)善行に没頭しすぎて、霊的な子どもを繁殖させる時間がないのは、無知または未熟な者だけです。成熟したクリスチャンは霊的に不妊で満足しません。自分の人生を見つめ直す時間を持ちましょう。今日、神と共に歩み、あなたの働きの結果としてキリストにおける満ちた人生を他者に委ねている一人の方がいますか?一人の男性ですか?一人の女性ですか?もしそうでなければ、あなたは実りを結んでいません。おそらくあなたは忠実に教会に通い、聖歌隊で歌い、案内係を務め、ユースグループの後援をしたり、長老や助祭、あるいは牧師として奉仕したりしています。毎日証しをしたり、グループ聖書研究を教えたりするかもしれません。これらは称賛に値する活動ですが、弟子を作るというあなたの高い召命を果たすには及びません。活動は従順の代わりにはなりません。忙しさは繁殖に代わるものではありません。一人の機能する弟子は、肉体的な信者の大群よりも教会を築く上で価値があります。「キリストの働き」にあまりにも積極的に関わりすぎて、神の国の仕事をおろそかにしてしまう誘惑に抵抗してください。キリストの弟子作りの使命を踏まえ、優先順位を見直してください。あなたの弟子訓練への献身は、キリストの無私の犠牲に応える神への愛から生まれます。あなたの感謝の気持ちは、多くの実を結ぶことで神に栄光をもたらすことを促します。霊的増殖はすべての弟子の真剣な願いであり責任です(ヨハネ15:8)。残念ながら、多くの信者はこの根本的な子孫への献身をためらいます。サタンは、私たちは弟子になるには十分ではないと言います。しかし、騙されてはいけません。あなたが他者を弟子にする資格を与えるのは、あなたの善さではなく、キリストの完全さです。重要なのはあなたが何を知っているかではなく、あなたが誰を知っているかです。もしあなたが自分自身に死んだなら、キリストはあなたを通してその人格を再現します。神の霊は、ペンテコステの際に三度キリストを否定した同じペテロを用いて力と大胆さで説教しました。神の御心の知識が増えていくことを自ら進んで受け入れるとき、キリストはあなたの弱さを力に変えます。完璧になるまで待てば、あなたは決して弟子にはなりません。しかし、信仰のもとに歩み出れば、神はあなたを通して御国を築かれます。ここで一言注意を促します。弟子訓練には絶えず自己死へのコミットメントが必要です。パウロは言います。「生きている者はイエスのために絶えず死に導かれている。イエスの命が我らの肉体にも現れるためである」(コリント人への第二の手紙4:11)。ヨハネはさらに「...我らは兄弟のために命を捧げなければならない」(ヨハネ第一3:16 NIV)と付け加えています。弟子訓練は大変な仕事です。パウロは「すべての人をキリストにあって完全に示すために努力」しました(コロサイ1:28,29)。弟子は自分の人生を弟子に捧げることを誓います。「...私たちは神の福音だけでなく、自分自身の命もあなたに伝えることができて喜びました...」(テサロニケ第一2章8節)霊的な育児は、何年も毎週多くの時間を要求します。それは感情的なエネルギーの消耗を必要とします。パウロは問いかけます。「私が弱くなければ、誰が弱いのですか?私の強い心配なしに罪に導かれる者は誰ですか?」(コリント人への第二の手紙11章29節)自分の命を他人に注ぐことは、消耗する投資です。代償を数えるまでは、神の前で弟子関係に約束してはいけません。

81-83ページ

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれがお互いの願いを祈り合います。*

出典: 弟子の形成 キース・フィリップス博士著。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から抜粋し、改訂は加えていない。
改訂20261012